

えんど久子県議ら日本共産党

県政をしっかりとチェックし提案・実現

日本共産党のえんど（猿渡）久子県議は、県議会本会議のほか委員会や予算決算審議などの機会を活かして積極的に発言し、みなさんの声を届け、公約の実現をめざしています。また、南石垣支援学校跡地活用案などを提案し、ダメなことはダメだと指摘しています。

小学生などの給食費ゼロを実現

市民のみなさんと共に学校給食費の無料化を求め続け、2024年4月から支援学校・定時制高校の給食費ゼロ、26年4月からは小学校の給食費ゼロを実現できました。中学校でも実現しましょう。



高校生まで医療費ワンコイン実現

子どもの医療費無料化の拡充を、教育費の負担を軽く、と再三求めてきました。2024年4月から高校生年代の医療費は1回500円（上限あり）のワンコインになりました。

パートナーシップ宣誓制度が実現

同性カップルなど多様な家族が普通に暮らせるために必要だと求め、2024年4月に実現しました。チカン対策も求めアプリアができました。

ヨーロッパへの県議の視察に反対

3400万円の税金を使って県議22名が海外へ視察。日本共産党は「県民の暮らしが厳しい時に行くべきではない」と反対しました。

四国への橋もトンネルもない

佐藤知事は東九州新幹線や豊予海峡ルート構想に意欲的で、機運を盛り上げようと使った税金は3年間で8千万円。「国は調査もしない方針で実現の見込みはない。莫大な費用と何十年もの期間が必要な四国への橋やトンネルは断念し、県民の身近な要望を優先すべきだ」と主張しているのは日本共産党だけです。

中小業者や介護職の賃上げ支援を

中小企業は県内事業者の99.9%、雇用の7割です。「大企業応援ではなく、中小業者全体に支援策が届くように」「政治の責任で介護・医療・福祉職の賃上げをすすめ人材確保を」と再三求めています。

軍事演習や弾薬庫建設は中止すべき

日出生台演習場での演習中止や敷戸弾薬庫新設中止をみなさんと共にくり返し求めています。

同和行政への偏りを正すべき

部落差別問題に偏った県の姿勢を改めるべきだと求めているのは日本共産党だけです。



県議会で発言する
えんど久子県議

日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団
大分県議会議員 えんど久子
TEL・Fax 097-537-2344

No. 87
2026.6.17.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください